

# TOSHIN Hearing NEWS

2021年12月発行

## 高齢者への補聴器購入費助成制度が全国的に増加

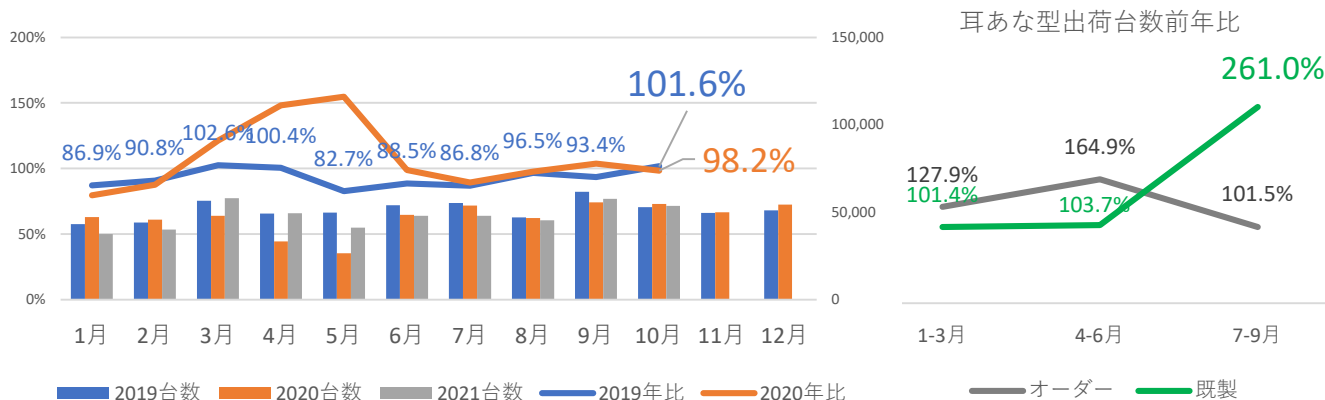
全国で続々と加齢性難聴に対する補聴器購入費の助成制度が議会で採択され始めています。平成31年までさかのぼると、現在までに採択した自治体数は166にも上ります。<sup>1)</sup> 既報の通り、関東にずいぶん遅れ関西では初めて令和3年7月に明石市において助成が開始されましたが、岡山県瀬戸内市においても8月から開始されました。明石市では65歳以上のすべての方に上限額2万円を1回限りであるのに対し、瀬戸内市では非課税世帯の方に限り上限額5万円を1回限りという条件となりました。同じように制度が開始された那覇市の場合は非課税世帯の方に上限額2.5万円を1回限りで、「市の予算内（年間25名分62.5万円）で」となっており、8月10日から9月30日までの申請期間中の先着順となりましたが、定員に満たず期間が延長されています。西日本地区において議会が採択した自治体数は多い順に高知県18、大阪府6、京都府6、奈良県6、和歌山県6、滋賀県4、兵庫県3、岡山県1、島根県1、香川県1、愛媛県1となっており中国地方が非常に少なく、これ以外の自治体では不採択に終わった自治体もあります。今後全国各地で助成制度が採択され、実施段階に入る自治体が増加していくことが予測されますが、各自治体において助成制度自体の有無と助成内容が細部で異なることには留意する必要があります。

また、「特定健康診査等における聴力検査・健診を求める意見書」が神奈川県葉山町議会で採択されました。特定健診とは、40歳から75歳未満の国民健康保険加入者が公費で受診できる健診で、現在は聴力検査が含まれていませんが、採択された意見書はその追加を求めています。これは難聴対策推進議員連盟が国に要望している「Japan Hearing Vision」の提言とも合致しており、「Japan Hearing Vision」はその趣旨を公費による定期的な聴力検査の実施によって加齢性難聴を早期発見し補聴器の早期装用につなげることとしていますが、葉山町の意見書内には「検査・健診で得られたデータは「難聴と認知症に関する研究」に用い、補聴器購入への公的助成の検討など、難聴による認知症予防への必要な施策を講じるよう併せて求めるものである。」となっています。

いずれの制度も、広く普及すれば先進国最低水準の日本の補聴器普及率のアップに寄与し欧米諸国の普及率に近付くと考えます。

1) 令和3年3月31日現在、自治体ホームページから全日本年金者組合調べ

## 1-10月国内補聴器累計出荷台数は2019年比93.2%



日本補聴器工業会が2021年10月の出荷台数を発表しました。累計台数において、前年比では104.1%と伸びているものの、2019年比に関して、6ヵ月ぶりに単月での出荷台数を上回りましたが、累計では93.2%となり依然としてコロナ禍以前の水準には戻っていません。補聴器の形状別に見ていくと、耳あな型の出荷台数はコロナ禍以降伸び続けていますが、オーダーメイドについて第3四半期の伸び幅は前期から急減

(164.9%→101.5%)し、既製(レディメイド)耳あな型の伸び幅は4回目の緊急事態宣言期間であった7月～9月に爆発的に増加(103.7%→261.0%)しました。既製耳あな型補聴器はインターネットを含む通信販売で取引されることも多く、適切なカウンセリングとフィッティングを伴わない安易な耳あな型補聴器の販売が増えている可能性があり、補聴器の適正供給が保たれているのか、注視していく必要があると思われます。いずれにしても長引くマスク生活の影響で耳あな型の利便性が見直された。

### 目次

- 1 高齢者への補聴器購入費助成制度が全国的に増加
- 2 国内補聴器出荷台数
- 3 医療従事者向けポータルサイト「Rionet MedPort」をオープン
- 4 店舗紹介

### 弊社定休日変更のお知らせ

2022年1月より定休日が変わります。日曜・祝日に加え、第2土曜日が定休日となります。大変ご迷惑をおかけいたしますが、ご理解ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

～耳科・聴覚に関する豊富な情報を提供～

## 医療従事者向けポータルサイト「Rionet MedPort」(リオネットメドポート) をオープン

リオン株式会社(本社:東京都国分寺市、代表取締役社長:清水健一)は、耳科・聴覚に関わる医療従事者向けの専門性の高いコンテンツをお届けする会員制ポータルサイト「Rionet MedPort」(リオネットメドポート)をオープンしました。これにより、いつでもどこでも製品情報や耳科・聴覚・補聴器の診療に欠かせない情報にアクセスが可能となりました。2021年5月のリオネット補聴器ブランドサイトのリニューアルに加え、医療従事者向けのポータルサイトを新設し、耳科・聴覚・補聴器に関する様々な資料・情報・機会を医療従事者に提供します。



### ・新しいサイトの特長

#### ■ 耳科・聴覚・補聴器の診療に欠かせない情報を集約

機器の操作方法、検査手順や聴力検査結果(オージオグラム)の見方など専門的な情報を集約することで、必要な情報へすぐアクセスすることができます。また、大学病院や総合病院から耳鼻咽喉科クリニック、健診センターなど施設に応じた製品構成例や導入事例を掲載し、具体的なイメージを持っていただくことが可能となります。なお、閲覧画面はスマートフォンやタブレットなど多様化する閲覧環境に対応した見やすさ、わかりやすさを重視したレイアウトです。

#### ■ セミナーやメンテナンスの動画など幅広い情報を掲載

医療機器ならではの繊細な取扱方法や日常点検などのメンテナンス方法を動画でわかりやすく解説しています。また、医療従事者をサポートする資料を数多く取り揃えるなど幅広い情報を掲載しております。

※ 本件に関するお問合せ、また登録申請のご希望がございましたら、お気軽に担当営業までお申し付けくださいませ。

一般社団法人日本補聴器工業会の調査結果(JapanTrak 2018)では、自己申告による難聴者の補聴器の所有率は14.4%に留まります。補聴器の適正な普及には、聞こえに不安を抱える患者への医師・医療従事者の適切な情報提供、診療が欠かせないものと考えています。本サイトでは様々なコンテンツを通じて、医療従事者を支援し、多くの方々が補聴器をはじめとする適切なサポートを受けられるよう仕組みを構築します。



## 店舗紹介 トーシン・高知補聴器センターが2021年7月29日に移転オープン

高知店がお客様により質の高いサービスを提供するために移転・リニューアルオープンしました。新店舗は移転前の2倍以上の広さでゆとりがあり、プライバシーに配慮したブースを3コーナー設け、各ブースにはモニターを設置し、口頭による説明だけではなく視覚情報を提供し、お客様が補聴器について理解しやすい環境を整えております。

住所 : 〒780-0870  
高知県高知市本町5丁目1-3 (EHビル1階)  
電話 : 088 (825) 2468 (移転前と変更なし)  
ファックス : 088 (875) 9096 (移転前と変更なし)  
営業時間 : 午前9時～午後5時  
定休日 : 日曜・祝日・第2土曜日



TOSHIN Hearing NEWS 発行元

**東神実業株式会社**  
**トーシン・補聴器センター**

本社 : 〒550-0002 大阪市西区西本町2-4-7

TEL : 06(6531)2541 FAX : 06(6531)3398

URL : <http://www.toshin-ha.co.jp/>